

ゲンビどこでも企画公募 2011

作品募集：2011年6月1日(水)～7月20日(水)

展示期間：2011年9月17日(土)～10月10日(月・祝)

今年もやります、ゲンビで展示する作品プランを大募集！ 審査のポイントは空間と作品の相乗効果。現地説明会も開催。

「ゲンビどこでも企画公募」は、広島市現代美術館の様々な無料パブリックスペースを活用した“その場所ならではの”作品プランを募集し、実際に入選作品を展示・発表する公募展です。

募集作品のジャンルや作品メディアは一切問いません。美術館の様々なパブリックスペースの特徴を活かした作品で、空間と作品の魅力を互いに引き出しあっていることを重要なポイントとして審査します。募集期間中には、応募希望者を対象に無料パブリックスペースをツアーで案内する「現地説明会」を開催するほか、ウェブサイトでもスペースの特徴や過去の入選作品の展示風景を掲載しています。

地元企業・特別審査員とともに行うアーティストの育成、 そして美術館の新たな魅力の創出

アーティストの意欲的な表現をサポートし、発表の場を提供するとともに、美術館という場の新しい魅力を創出し、発信することを目的として行う本プログラム。

創作活動の場を作り出し、地域で支えていく趣旨に賛同いただいた地元企業2社（オタフクソース株式会社、広島アンデルセン）、さらに各方面で活躍する特別審査員との協力体制により、アーティストの創造の場を支え、地域との交流の場を創出していきます。

特別審査員も個性豊かな面々

秋山祐徳太子（あきやま・ゆうとくたいし）

1935年東京都生まれ。ブリキによる彫刻作品や、《ダリコ》、東京都知事選出馬をはじめとする数々のパフォーマンスで知られる現代美術家。当館でも2011年10月より、しりあがり寿との二人展を開催。

谷尻誠（たにじり・まこと）

1974年広島県生まれ。住宅、商業空間、ランドスケープ、プロダクト、アートのインスタレーションなど幅広く活躍する、今最も注目を集める若手建築家。サポートデザインオフィス代表。広島・東京の2ヵ所を拠点に事務所を構え、国内外合わせ現在も多数のプロジェクトが進行中。

松井みどり（まつい・みどり）

美術評論家。東京大学大学院で英米文学を学び、1988年博士課程後期満期退学。1997年プリンストン大学大学院博士課程で比較文学の博士号取得。海外の学術誌、企画展カタログ多数寄稿するなど、日本を代表する美術評論家として日本のアートシーンを精力的に海外に紹介している。



- ・アーティストの育成
- ・美術館の新たな魅力を発信
- ・創造の場、交流の場をつくる



A 秋山祐徳太子
B 谷尻誠

C 松井みどり

作品プラン募集 6月1日(水)～7月20日(水) 必着

募集内容

- ① 作品のジャンルは問いません。(無料パブリックスペースの広さや構造において実現可能なもの)
- ② 広島市現代美術館の無料パブリックスペース(エントランスホール、ミュージアムスタジオ、回廊、ホワイエ、階段まわり等)を活用した作品の展示・発表プラン。
- ③ 開催期間を通して展示できる作品であること。(パフォーマンスや演奏の場合は1日単位でも可)

応募方法

応募用紙(ウェブサイトからダウンロードするか、記載必要事項を満たしたものに、必要事項を記入のうえ、広島市現代美術館「ゲンビどこでも企画公募2011」係まで郵送、または美術館受付まで持参してください。

現地説明会

■ 2011年6月18日(土) 13:30～

応募希望者を対象に、展示場所になるパブリックスペースをツアーでご案内します。
※参加できない応募者のために、ウェブサイトでパブリックスペースの外観や特徴、過去の入賞作品の展示風景を掲載します。

審査選考・結果発表

8月20日(土) ウェブで入選者発表!

審査および入選者の発表

◎ 入選：8名/組(特別審査員賞：3名/組含む) ◎ 観客賞：1名/組

広島市現代美術館と特別審査員による審査を行い、入選者(8名/組程度)を選出します。さらに、その中から特別審査員賞と観客賞を選出します。入選者全員に金一封(5万円)を、特別審査員賞には協力企業より副賞が授与されます。また会期中、来場者による投票で観客賞を決定します。

展覧会

9月17日(土)～10月10日(月) 入場無料

◎ 入選作家8名/組とゲンビスペースのコラボレーションをぜひご覧ください!

授賞式および地元協力企業の日

■ 2011年9月17日(土) 14:00～

入選者に賞状および金一封と協力企業からの副賞を贈呈します。式にはどなたでも参加でき、参加者に協力企業からのプレゼントあり(各企業先着50名分)。

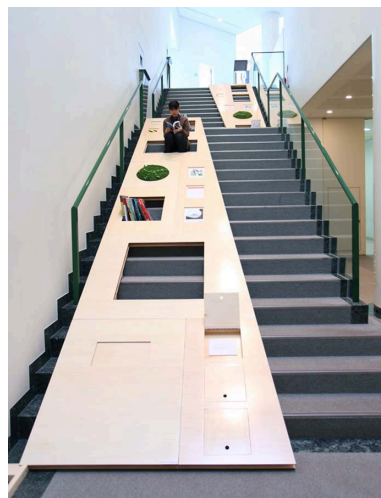
※企画の進行状況は特設サイトにて公開しています。

<http://www.hcmca.cf.city.hiroshima.jp/web/dokodemo/>

過去の「ゲンビどこでも企画公募」入選作品



いしかわ かずはる《"WE ALIVE"》2009



谷田真+名城大学建築学科谷田研究室
《どこでも・何にでも・ファニチャー》2009



フィロズ・マハムド
《Rescued Stardom》2009



太湯雅晴《LOCKER GALLERY at Hiroshima MOCA》2010